

本単元で目指す子供の姿

自分の体や目について関心をもち、目を健康に保つための方法を理解し、学習して分かったことを日常生活で実践する子供

1 単元のデザイン

(1) 構想

本単元の目標

関心・意欲・態度	目のことに関心をもち、そのはたらきについて知り、目を健康に保つための方法について考えたり、実践したりできるようにする。
思考・判断・実践	自分の目を健康に保つ方法について話し合い、自分の課題に合った方法を考え、判断し、実践できるようにする。
知識・理解	目のはたらきについて知り、健康な生活を送ることの大切さや、そのためのよりよい目の健康の保ち方について理解できるようにする。

単元の力

本単元は、学習指導要領(2)「力 心身ともに健康で安全な生活態度の形成」に関わるものである。

目は、人間の体の中でも大切な感覚器官で、脳に送られる情報の80%以上は目から入るとも言われている。現代の生活の中には、TVゲームやインターネット、携帯型ゲーム等モニター画面があふれており、目にかかる負担は大きく、子供の目は疲れている状態であることが考えられる。

本校では、学校の日々の取組として目の体操を行っているが、目の体操の効果や必要性について、1年生には十分周知できていない。

そこで、目の体操の効果や必要性、目を大切にする意味を知ること、自分の目を健康に保つ方法について考え、自ら進んで実践することができる単元である。

児童の力

本学級の児童は、学校の取組の一つである目の体操を覚え、放送に合わせてできるようになった。目を動かすことが難しかった児童も、少しずつできるようになってきている。

事前に行った目に関するアンケートから、目の部位の名前である、「まゆげ」や「涙」は、70%の児童が知っていたが、「まつげ」は50%、「まぶた」や「ひとみ」については、ほとんどの児童が知らないことが分かった。

また、「テレビを-viewていますか」の問いに、「毎日見ている」「時々見ている」と回答した児童が80%、「ゲームをしていますか」の問いには、35%の児童が、「毎日している」「時々している」と回答していた。さらに、1日に2時間以上テレビを見たりゲームをしたりしている児童は、約25%で、目が疲れているのではないかと考えられる。

「目を大切にしていますか」の問いに、肯定的に回答した児童は、約60%いたが、具体的な方法として「目の体操」と回答した児童は、そのうちの30%しかおらず、それ以外の児童は、無回答や「わからない」と回答している。このことから、目の体操は毎日行っているが、目の体操の効果や意味について十分理解できていないと考えられる。

私が放つ「健康教育3本の矢」

課題意識

- ・色や形、数、錯覚の図等を見たり、まばたきの回数を数えたりすることで、目に関心をもち、目を大切にしていこうという意欲を喚起する。また、現代はテレビやゲーム、パソコンなど情報社会の中で、目に負担のかかる生活をしていることに気付かせることで、目を健康に保つ必要性を意識させる。

協働

- ・養護教諭や学校医の話を聴く場を設けたり、目を大切にする方法を実際に試したりすることで、自分の課題に合った解決策を見付けさせる。見付けた解決策についてペアや学級で交流し、相互評価することで、自分が選択した方法に自信をもち、意欲を高める。

実践化

- ・保健室掲示や保健便りの作成に関わり、学びを全校児童に伝え、学校生活に生かす場を設定することで、生活科の「自分でできるよ」と関連させて、自分たちが学習したことを確認し、毎日の「目の体操」の実践につなげる。また、家庭との連携を行い、日常的に学びを生かせることに気付かせ、家庭での実践の定着を図る。

(2) 単元の評価規準

ア 集団活動や生活への 関心・意欲・態度	イ 集団の一員としての 思考・判断・実践	ウ 集団活動や生活についての 知識・理解
自分の目について関心を持ち、目の健康を保つための学習や日常生活改善に意欲的に取り組もうとしている。	健康な生活を送るために、日常生活や課題について話し合い、自分の課題に合ったよりよい目の健康を保つ方法を考え、判断し、実践している。	健康な生活を送ることの大切さ、そのためのよりよい目の健康を保つ方法などについて理解している。

(3) 単元構想図 (全5時間 内 特別活動2時間)

時数	単元を貫く 課題	主な学習の流れ									評価			児童の意識の流れ	
		5	10	15	20	25	30	35	40	45	ア	イ	ウ		
課題意識 1	目を大切にする方法を知って、小谷のみんなの目を元気にしよう。	○様々なものを見ることを通して、目に関心をもつ。	○目を使ったゲームを通して、目のはたらきについて知る。	○自分の生活を振り返り、目に負担をかけている原因について話し合う。	○自分の生活から課題を見付ける。						○			・長い時間ゲームをしたり、目を近づけて本を読んだりすると、目が疲れることが分かった。どうすれば、目を大切にできるのかな。	
協働 2 本時		○前時を想起し、目を健康に保つための課題意識をもたせる。	○目の健康を保つ方法について眼科医や養護教諭から専門的な知識を習得する。	○これまでの生活を振り返り、自分が目を健康に保つためにできることを選択し、体験する。	○自分がこれから、学校や家庭で気をつけて生活したいことを決める。							◎	○	・腰骨を立てて目の体操をしたり、姿勢よく、本を読んだり字を書いたりして、目を大切にしていこう。	
3		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 道徳の時間「かぼちゃのつる」1-(1) ・わがままをしないで、生活しようとする態度を育てる。 </div>													・ずっとゲームがしたいけど時間を守ってゲームをしよう。 ・テレビも離れてみるようにしよう。
課外		○学校生活と家庭で、一週間、自分のがんばるところを意識して取り組む。										○			・自分の目を元気にするために、いい姿勢と目の体操をがんばろう。
実践化 4 5		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 生活科「じぶんでできるよ」 ・規則正しく健康に気を付けて生活することができるようにする。 </div>	○一週間の取組の結果を交流し、今後の学習に意欲をもたせる。	○保健室掲示にどんなことを載せるといいのか考える。	○保健室掲示をグループで作成する。	○自分たちが学習したことを全校に伝える。									・学習したことを全校のみんなに発表するのは楽しみ。目を大切にする方法をがんばって伝えよう。 ・おうちでも、学校でも気を付けて生活しよう。

2 本時のデザイン（2時間／5時間）

（1）本時の目標

目を健康に保つ方法について知り，その方法の中から自分の課題に合った方法を選んだり見付けたりすることができるようにする。【思考・判断】

（2）学習の展開



展開	学習活動と予想される児童の姿	教師の手立て	配慮を要する児童への手立て（◎） 評価（◇）
つかむ	<p>1 「アイちゃん」が疲れていることを想起し，本時の課題を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームを1時間続けると「アイちゃん」は疲れるよ。 ・悪い姿勢で字を書くのもいけないよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に学習した目が疲れる状況を想起させ，「アイちゃん」を元気にさせるためには，どうしたらいいのかという課題意識を喚起する。 [T 1] 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">「アイちゃん」を元気にする方法を考えよう。</div>			
さぐる	<p>2 保護者アンケートを提示し，自分たちが考えた課題と比較して自分たちの生活の課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの時間は短いと思っていたけど，長い時間していたことが分かった。 ・テレビを見るときに，「テレビのそばで見てはだめ」と注意されたことがあるよ。 ・字を書くとき，姿勢が悪いと言われたことがあるよ。 <p>3 学校医や養護教諭から目を健康に保つための方法について話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢を良くすることも目を疲れさせないことにつながるんだ。 ・目の体操は，目の疲れをとるのに役に立っていることを初めて知った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階を考慮し，児童が見付けた課題だけでは，不十分であることも考えられるので，事前にとっておいた保護者アンケートの結果を資料として提示し，課題を意識させる。 [T 1] ・保護者アンケートと，自分の課題を比較することで，より実際の生活に基づいた課題として捉えることができるようにするとともに，学校医の話にも興味をもって聞くことができるようにさせる。 [T 1] ・児童に分かりやすく理解させるために，学校医の話を録画しておき，映像で提示する。 [T 1] ・学校医から目を健康に保つ方法について，話をしてもらうことで，専門的な知識を獲得し，実践意欲を高める。 [T 1] ・養護教諭から，日常的な取組について説明を聞き，「目の体操」や「すっきりタイム」などが目を大切にしていることを実感させる。 [T 2] 	<p>◎自分の課題が見付けにくい児童には，保護者アンケートを基に，できていないと感じるものを選択させる。</p>
交流する	<p>4 自分の課題に合った目の健康を保つための方法を選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕は，ゲームをよくしているから，ゲームを30分したら5分休憩しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の課題追究を肯定的に評価し，本時で考えた方法を価値付けることで，実践意欲をもたせる。 [T 1, T 2] ・自分ができていなかったことと，こ 	<p>◎自分の課題に合った解決策が見付けられない児童には，自分の課題と</p>

交流する	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩するときは、遠くの山を見るようにしよう。 ・目の体操をする時、しっかり目を動かしてやってみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これから頑張ることが分かるようにワークシートを工夫し、学校と家庭での実践化へつなげる。 [T 1] ・教えてもらったことを、実際に体験しながら確認することで、日常的に使える知識として獲得させる。 [T 1, T 2] ・タブレットを活用し、児童が意欲的に体験している様子を、電子黒板に提示することで、意欲を高めたり、よい動きを示したりする。 [T 1] 	<p>学校医や養護教諭の話と関連させて選択させる。</p>
決定する	<p>5 本時の振り返りをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>おおむね満足できる振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腰骨を立てて目の体操をしたり、姿勢よく、本を読んだり字を書いたりして、目を大切にしていこう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートと関連させて、自分の課題を解決するための方法を選択できるようにさせる。 [T 1, T 2] ・児童が考えた方法を肯定的に評価し、児童の頑張りたいことを価値付けし、実践意欲をもたせる。 [T 1, T 2] 	<p>◇目を健康に保つ方法について知り、その中から自分の課題に合った方法を選んだり見付けたりしている。</p> <p>【ワークシート】</p>
	<p>6 お互いに交流し、これからの学校や家庭での取組に意欲をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなに「がんばってね」と言われてうれしかった。目の体操をがんばるぞ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書いた自分が頑張りたいことを友だちに伝え合い、「頑張るってね」と声を掛け合うことで、一緒に頑張る仲間がいることを確認し、今後の取組に意欲をもたせる。 [T 1, T 2] 	

(3) 板書計画

9/22 めあて 「アイちゃん」を げんきにするほうほうを かんがえよう

めがつかれている りゆう (こども)

- 1 てれびやげえむのじかん
- 2 てれびやげえむのときより
- 3 じをかくときのしせい
- 4 ほんをよんでいるときのしせい
- 5 ものをじっとみている

イラストで

げんきにするほうほう ♥ (イラスト)

- ・こしほねをたてる。

- ・30 ぶんしたらきゆうけいする。

- ・ものをみるときは、めをはなして。

- ・とおくをみる。

まとめ

- ・めのたいそうをがんばる。
- ・こしほねをたててべんきょうする。
- ・おうちでもやってみよう。

あんけえと けっか (おうちのひと)

- 1
- 2
- 3

めのたいそう すっきりたいむ

こだにしょうがっこう